

はじめに

今回は 1975 年 1 月 21 日の講義の解題である。今回だけは Satferla のオリジナルの図と文に逐次説明を加えてゆくという従来のやり方を取らず、オリジナルは小生の解題の後に貼り付けた(訳出した箇所、重要な箇所には下線を引いた)。なぜかというところ、冒頭の図に間違いがあると判じ、Afi 版 (http://ecole-lacanianne.net/wp-content/uploads/2018/04/seminaire_seminario_trabsruotuib_ALI_1974_1978.pdf, p.57, 必ずこの図を見ていただきたい)を参照して解説したからで、なんとなく従来のやり方を踏襲する気になれなかったのである。次回からは従来通りにする予定である。しかし今回はかなり丁寧に読んだつもりである。拝して味読していただくことを望む次第である。Afi 版についてだが、シャルル・メルマンには敬意を表したい。